

11月7日(金)

兵庫県高等学校演劇研究会阪神丹有支部合同発表会(コンクール) 演劇部出場

11月6日(木)~9日(日)の4日間にかけて、兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)大ホールにて、コンクール阪神・丹有地区大会が行われました。昨年に創立以来初めて出場して以降、1年かけて研鑽を積み重ね、技量・団結力ともに格段にグレードアップした西宮香風高校演劇部。2日目となる7日(金)に上演された、部員創作の「かのん」。クライマックスでは、客席からすすり泣く声が聞こえ、終演後にご覧いただいた方々より「感動した」というお言葉を次々にいただくなど、お客様の心に残る満足度の高い舞台をお届けすることができたと自負しております。

最終日である9日(日)の閉会式にて結果発表が行われ、本校演劇部は「優良賞」「創作脚本賞」のW受賞を果たすことができました。惜しくも県大会上演の切符をつかむことは叶いませんでしたが、部長が創作した脚本が高い評価を受け、県の創作脚本賞(通称:「吉山賞」)の候補にノミネートされることとなりました。これに伴い、表彰式出席のために、翌週16日(日)に明石市立西部市民会館で行われた県大会終了後の表彰式に、作者である部長が出席しました。候補作はどれも完成度が高く、吉山賞の受賞こそ逃しはしたものの、ノミネートされたこと自体が、作者である部長だけでなく、本番に向けて切磋琢磨してきた部員たちにとって、大きな励みとなったことは間違いありません。

この1年、香風高校演劇部は、大きく飛躍することができました。多部制の学校ということで、放課後に時間がとれる全日制の他校と比べて練習時間に大きな制約がある中で、工夫を重ねながら練習に取り組んだ結果、兵庫県の高校演劇において、確実に新たな「風」を巻き起こしたといえます。部員自体の力によるところも大きいですが、これもひとえに、日頃より演劇部の活動にご理解・ご協力くださった皆様のおかげだと考えております。今回の結果におごることなく、今後もお客様に楽しんでいただける舞台をお届けできるよう、そして来年度は、地区大会を突破して、県大会でより多くのお客様に作品をご覧いただけるよう、引き続き精進してまいります。演劇部の活動に、今後とも応援のほどよろしくお願い申し上げます。

